双葉町 社協だより

“社協は社会福祉協議会の略称です”

平成28年７月１日発行
第　10　号

社会福祉法人
双葉町社会福祉協議会
〒974-8212
福島県いわき市東田町2丁目19－3
（トークビル１階Ａ号）
TEL (0246) ８４－６７２５
FAX (0246) ８４－６７２８

つなぐ。つなげる。支え合う。ずーっとずーっと双葉町。

～双葉中学校の生徒さんとの交流会～
in サポートセンターひだまり

ふたば音頭♪

目　次

社協役員・組織表 ……2～3
平成27年度決算・事業報告 ……4
平成28年度予算・事業計画 ……5
サロンの紹介 ……6～7
地域包括支援センター・民生委員 …8
生活支援相談員 ……9
老人クラブ ……10

会長あいさつ

人にやさしい福祉のまちづくりをめざして

社会福祉法人 双葉町社会福祉協議会　会長　髙野　泉

町民の皆さまにおかれましては、東日本大震災により全戸避難生活の中にありながらもご清祥のことと存じ申し上げます。平素は、双葉町社会福祉協議会にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私は、平成28年４月１日開催の理事会で、理事の皆さまのご推挙とご賛同を賜り、会長の重責を担うことになりました。また平成28年度の役員改選に伴い、６月１日から再度、会長の要職を拝命しております。

以前は、双葉町役場職員として奉職し、その後、双葉町社会福祉協議会事務局長として勤務しておりました。

今までの経験を踏まえ、微力ではございますがこれからの双葉町社会福祉協議会の円滑な運営と地域福祉の充実に向け、その職責を全うし努めてまいる所存でございます。

双葉町は東京電力㈱福島第一原子力発電所の事故により、全町民の避難が余儀なくされ、ふるさと双葉町へいつ帰還できるのか示されておりません。

町民の皆さまには、震災から５年の歳月が流れ、生活環境や社会情勢が大きく変わったことで、直面している福祉課題は、より多様化し複雑になり、深刻な状況に陥っています。

このことから当社会福祉協議会に課せられた使命、役割が最も重要となってきております。

社会福祉協議会は町と協力し、福祉のまちづくりを進めていかなければなりません。

つなぐ、つなげる、支え合う。

双葉町民は、いつでも、どこでも、ず～っとず～っと双葉町民です。

“町民の誰もが、安心して暮らし続ける双葉町”を目指すため、職員と共に精を出してまいります。

また、双葉町社会福祉協議会は、今日まで多くの皆さまに支えられてまいりました。皆さまの温かいお気持ちを忘れず、信頼と期待に応えられるよう、役職員一同引き続き事業の推進に努めてまいります。

皆さまのご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

＊役員のご紹介＊

※敬称略

任期：平成28年６月１日～平成30年５月31日

役職名	氏名
会長	髙野　泉
副会長	岡田　常雄
〃	羽根田　信
理事	田中　清一郎
〃	中村　富美子
〃	井戸川　蓉子
〃	天野　景久
〃	石田　翼
〃	玉野　憲一
〃	谷津田　尊之
〃	橋本　仁

任期：平成28年６月１日～平成30年５月31日

役職名	氏名
監事	渡部　重康
〃	作田　みどり

任期：平成28年５月16日～平成30年５月15日

役職名	氏名
評議員	冨沢　信一
〃	作本　信一
〃	福岡　渉一
〃	大橋　庸一
〃	千吉良　髙志
〃	渡部　一美
〃	大森　忠雄
〃	木幡　智清
〃	原中　良博
〃	石川　榮次
〃	阿部　利一
〃	石田　翼
〃	朝川　洋一
〃	井戸川　則隆
〃	新川　敏美
〃	齊藤　六郎

役職名	氏名
評議員	菅本　洋
〃	玉野　憲一
〃	新工　澄子
〃	志賀　富江
〃	伊藤　吉夫
〃	木幡　文子
〃	舘林　博
〃	石川　若子
〃	天野　景久

＊組織表＊

平成28年
4月1日現在

理事、監事、評議員

会長　髙野　泉

副会長　岡田　常雄・羽根田　信

事務局長　木口加代子

本部事務局（いわき市）

総務部統括部長兼 地域包括支援センター所長	田中　勝弘
総務部長	泉田　雅史
総務部主事	佐藤　睦美
事務員	蛭田　香

郡山事務所（郡山市）

事務局次長兼郡山事務所長兼 地域包括支援センター郡山出張所長	横山　敦子
主任	開発ミイ子
主任	林　利久
相談員	木幡美奈子
主任生活支援員	阿部　清子
生活支援相談員	五十嵐香折
生活支援相談員	大橋　佳子
看護師兼生活支援相談員	清水　雪枝
生活支援相談員	千葉　裕子

白河出張所（白河市）

主任生活支援員	廣田　正美
生活支援相談員	小泉　和雄
生活支援相談員	渡部　幸枝

福島出張所（福島市）

生活支援相談員	小林　純子
生活支援相談員	宮田　廣明

サポートセンターひだまり（いわき市南台）

所長	古室　敦子
副部長	渡邉ゆかり
主任	野村　悦子
地域包括支援センター主任	中谷　博子
生活援助員	小畑　康子
主任生活支援員	石田　恵美
生活支援相談員	西尾美代子
生活支援相談員	宮下眞喜子
看護師兼生活支援相談員	鈴木　一枝
生活支援相談員	佐藤　文寛

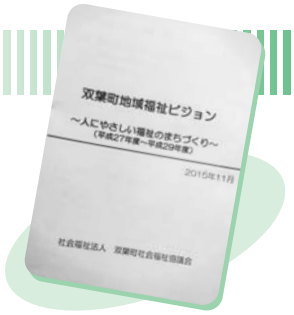
南相馬出張所（南相馬市）

生活支援相談員	小室　郁夫
生活支援相談員	鈴木　洋子

加須事務所（加須市）

所長	渡邉　博光
主任	大友　幸江
看護師兼生活支援相談員	内山　順子
生活援助員兼管理員兼運転手	矢嶋　儀一
生活支援相談員	新川　富子
生活支援相談員	木村祐美子
生活支援相談員	髙野　愛
看護師	押越　優子

双葉町社協ビジョン



震災から５年が経過し、避難生活を余儀なくされている町民の皆さまの自立を支えるため、双葉町社会福祉協議会が担う役割が重要となってきております。

そのため、サービス向上に取り組むにあたり、必要な事業運営の在り方や人材確保、育成の方向性などについて平成27～29年度の３か年を対象とした中期的な計画（ビジョン）を作成しました。

基本方針

双葉町民誰もが人として尊厳をもって、家庭や地域のなかでその人らしい生活がおくれる地域社会の実現に向けて、町民主体及び町民参画を基本とした福祉の推進に取り組んでいきます。

基本目標

- 避難先との連携を推進し、地域住民同士が支え合う環境づくりによる町民の生活再建
- 町民一人ひとりの心身の健康の確保に向けた自立支援

施策方針

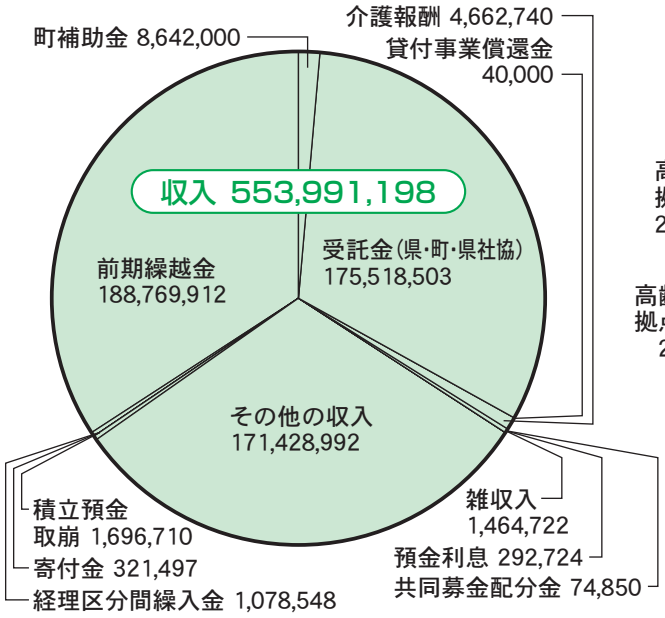
(1) 町民の生活支援体制の強化
(2) 避難先での地域連携体制の推進
(3) 新しい支え合いの推進と調整機能の向上
(4) 生きがいの創出
(5) 地域包括支援センターの機能強化
(6) 介護予防事業の充実
(7) 生活支援相談活動の強化

＊ビジョンについての詳細は、双葉町社協ホームページにてご覧いただけます。

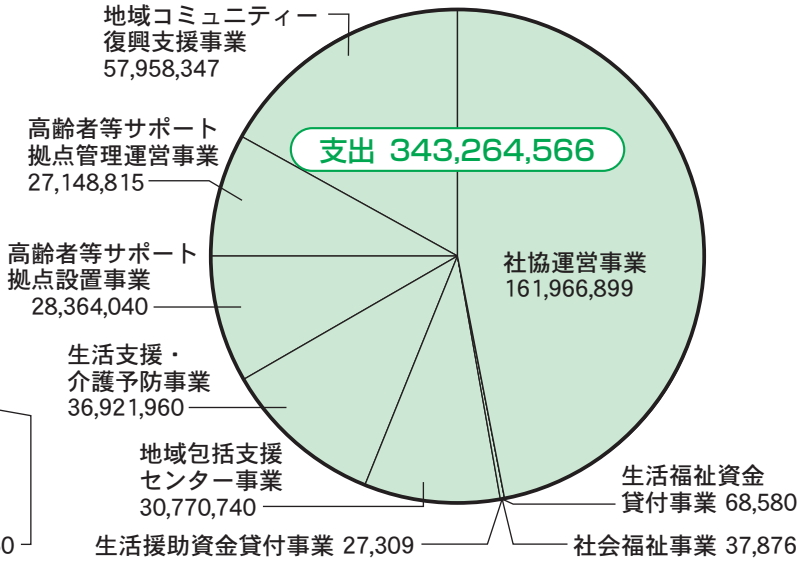
平成27年度 決算

〔単位：円〕

収入



支出



平成27年度 事業報告

1．理事会、評議員会、会計監査の開催

2．介護予防事業（町委託事業）

①社協サロン　● 51回　延べ1,034人
②健康運動教室　● 165回　延べ2,196人
③ふれあいネスト　● 111日　延べ1,165人

3．地域包括支援センター運営事業（町委託事業）

①活動拠点　いわき市、郡山市
②総合相談　1,458件
③介護予防支援
● 要支援認定者に対するケアプラン作成、給付管理
委託件数　延べ1,073件　93人

4．生活支援相談員配置事業（県社協委託事業）

①訪問相談活動
● 福島地区　2,879件
● 郡山地区　2,841件
● 白河地区　3,933件
● いわき地区　4,095件
● 南相馬地区　1,821件
● 加須地区　3,014件
②サロン運営活動
● 南相馬「ひだまりサロン」　96回　延べ1,182人

5．サポートセンター「ひだまり」管理運営事業（県委託事業）

開所日数　242日　延べ4,690人
①総合相談　42件
（要介護認定、介護サービス、生活相談関係）
● こころの健康相談室　5日　8件
②交流サロン　145回　延べ3,408人
③開放日　99日　延べ1,282人
④見守り訪問活動（いわき市内）
訪問件数　仮設住宅　302件
借上げ住宅　909件
復興住宅　56件

6．サポートセンター設置運営事業（町委託事業）

①双葉町サポートセンター（郡山市）
● 総合相談　474件（要介護認定、介護･生活に関する相談）
②いきいきサポートセンター（加須市）
● いきいきサロン　143日開催　延べ3,268人
● 総合相談　22件（介護、健康、生活に関する相談）
● 開放日　101日　延べ1,091人

7．高齢者等生活支援事業（町委託事業）

①軽度生活援助サービス（家事援助）　延べ11人
②外出支援サービス（医療機関等への送迎サービス）
延べ　1人

8．日常生活自立支援事業（県社協委託事業）

利用者数　1人

9．広報啓発事業

①社協だより発行（年2回）
平成27年7月、平成28年1月（全戸配布）
②ホームページ作成
平成27年12月

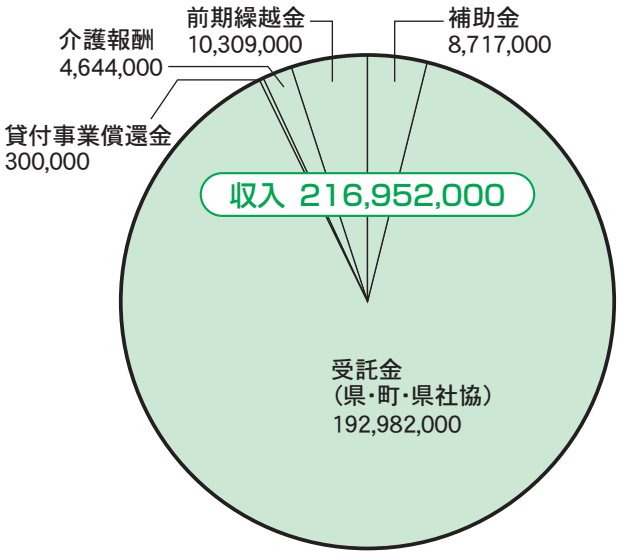
10．双葉町地域福祉ビジョン策定

平成27年11月

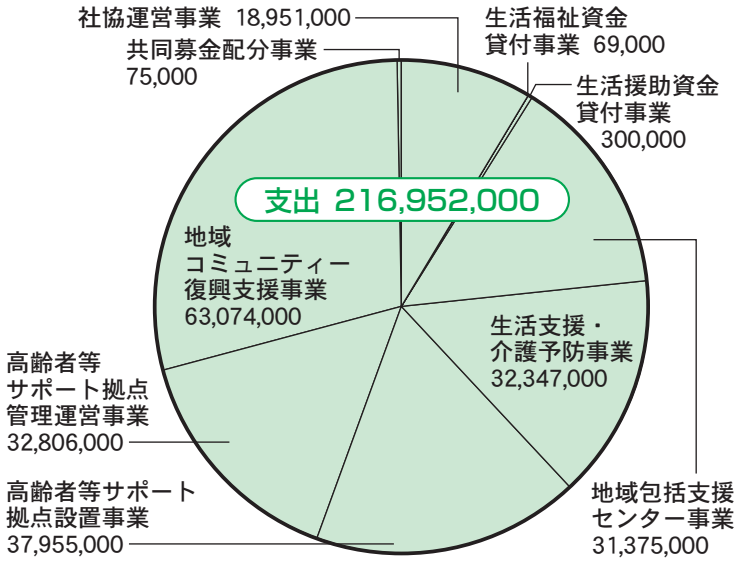
平成28年度 予算

〔単位：円〕

収入



支出



平成28年度 事業計画

1．基本方針

東日本大震災から５年が経過し、仮設住宅、復興公営住宅、持家など居住形態が多様化する中、地域コミュニティの崩壊や家族分離、健康問題など町民の不安や生活課題は未だ解決しておらず、ますます孤立の防止や地域コミュニティの構築に向けた取り組みが必要とされています。

本会は、町民誰もが人として尊厳をもって、家庭や地域のなかで、その人らしい生活がおくれる地域社会の実現に向けて、町民主体及び町民参画を基本とした福祉の推進に取り組んでまいります。

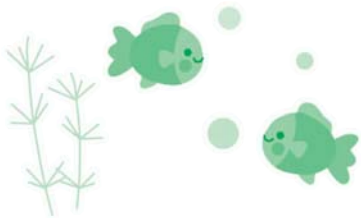
2．重点目標

(1)町民生活支援体制の強化
(2)避難先での地域連携体制の推進
(3)新しい支え合いの推進と調整機能の向上
(4)生きがいの創出
(5)地域包括支援センターの機能強化
(6)介護予防事業の充実
(7)生活支援相談員活動の強化

3．事業内容

(1)法人運営事業
　①理事会、評議員会の開催
　②監事による監査の実施
　③事業財源の確保

(2)地域福祉事業
　①サポートセンター設置運営事業
　● 双葉町サポートセンター（郡山市）……町委託事業
　● いきいきサポートセンター（加須市）……町委託事業
　● サポートセンター「ひだまり」（いわき市）……県委託事業
　②日常生活自立支援事業（あんしんサポート）
　　……県社協委託事業
　③福祉資金貸付事業
　④ボランティア事業
(3)生活支援相談員配置事業……県社協委託事業
(4)地域包括支援センター運営事業……町委託事業
(5)介護予防・生活支援事業……町委託事業
　①運動機能向上、認知症・うつ・閉じこもり予防、生きがいづくり等を目的とした介護予防教室を開催
　②軽度生活援助
(6)広報啓発事業
　社協だよりの発行及びホームページの作成
(7)団体事務局
　民生児童委員協議会
　老人クラブ連合会



サロンの紹介

長期化する避難生活の中で、仮設・借上げ住宅等から新しく家を建て生活を再建する世帯が増え、町民同士の関わりが希薄になることが心配されています。そこで町民同士の交流を図り、地域で安心して生活が送れるよう各地でサロンを開催しています。
※開催日は祝祭日を除きます。

健康運動教室

●開催場所／開催日
福島：平野仮設住宅集会所
　　毎月第１、３、４木曜日
白河：郭内第二仮設集会所
　　毎週火曜日
郡山：せんだん広場
　　毎月第２金曜日
　　：南東北総合卸センター
　　毎週火曜日、水曜日

セラバンドを使った体操で
筋力UP！

南東北病院の理学療法士の先生による
ストレッチ体操

いきいきサロン

●開催場所／開催日
いきいきサポートセンター
（加須市）
毎週月曜日、水曜日、金曜日

立教大学のボランティアさんと
夏に向けてゴーヤを植えました

折り紙であじさいを折っています
季節を感じる作品です☺

ふれあいネスト

●開催場所／開催日
ふれあいネスト（白河市郭内第二仮設住宅）
毎週金曜日

ぬり絵でオリジナルカレンダーを作成中

南相馬ひだまりサロン

●開催場所／開催日
南相馬ひだまりサロン（南相馬市）
毎週火曜日、木曜日

かわいらしいお地蔵さまと一緒に

ひだまりサロン

●開催場所／開催日
サポートセンターひだまり
（いわき市）
毎週月曜日、水曜日、金曜日

バラ園見学
綺麗なバラに見とれました

双葉町南・北小の児童と
昔遊びでたのしく♪

＊社協サロンのお知らせ＊

６ページおよび７ページに記載のサロンの他、公共施設等にてサロンを開催しています。

●開催場所
福　島：サンライフ福島
白　河：郭内第二仮設集会所
郡　山：南東北総合卸センター
　　喜久田公民館
会　津：会津若松市老人福祉センター
いわき：ふたぱーく
　　小名浜公民館
　　いわき市文化センター
南相馬：かしま交流センター

いわき

会　津

白　河

●開催案内

7月	8日（金）サンライフ福島 11日（月）会津若松市老人福祉センター 19日（火）白河市郭内第二仮設集会所 26日（火）いわき市文化センター 28日（木）かしま交流センター（南相馬市）
8月	22日（月）喜久田公民館（郡山市） 30日（火）ふたぱーく（いわき市）

※日程が変更になる場合があります。
詳しくは「広報ふたば」または社協ホームページにてご確認ください。

みなさんの
ご参加
お待ちして
います

双葉町地域包括支援センター

お困りごとはありませんか

高齢者等の生活をサポートします。

地域包括支援センターは高齢者等の介護や福祉、医療、権利擁護などの総合相談機関です。

福祉に関する困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

- 避難先で介護保険のサービスを利用したい…
- 自宅で介護しているが、どうすればよいか困っている…

等ありませんか？

双葉町地域包括支援センター

お問い合わせ

- 担当地域 **全域**〈担当：田中〉
  本部事務局内：☎**0246－84－6725**
- 担当地域 **福島県中通り、会津**〈担当：横山〉
  郡山事務所内：☎**024－973－5291**
- 担当地域 **福島県浜通り**〈担当：中谷〉
  サポートセンターひだまり内：☎**0246－38－7105**

双葉町民生児童委員協議会

民生委員は身近な相談相手です

民生児童委員は、相談内容に応じて適切な関係機関に繋ぐ役割を担っています。
心配ごと、悩みごとをひとりで抱えないで、お気軽にご相談ください。

た・と・え・ば…

福祉サービスを教えてほしい

介護のことで悩んでいる

一人暮らしが不安だ

健康や医療について心配

お問い合わせ　双葉町民生児童委員協議会事務局　☎**0246－84－6725**

生活支援相談員だより

生活支援相談員とは？

生活支援相談員とは、福島県社会福祉協議会から委託を受け、仮設住宅・借上げ住宅・復興公営住宅及び新たに家を建てられた方々を訪問し、心や身体に関する健康相談や介護・福祉サービス等に関する相談を受け、専門機関に繋ぐなどの生活支援を行っています。

現在、双葉町社協では生活支援相談員を、福島市、郡山市、白河市、いわき市、南相馬市、埼玉県加須市の計６か所に配置し、戸別訪問や各拠点を中心としたサロン活動などを行っています。

また、関係機関との連携を図るための支援者連携会議や、様々なニーズに対応できるよう定例会を開催して研修や生活支援相談員同士の意見交換などを行っています。

訪問の様子（郡山市）

支援者連携会議（白河市）
関係機関との意見交換を行っています

あたたかいご寄付をありがとうございました

皆さまのご寄付は、地域福祉活動の諸事業に大切に活用させていただきます。

一般寄付
平成28年１月～５月
（順不同・敬称略）

- ●木幡　貫一（双葉町）
- ●木幡　一夫（双葉町）
- ●和太鼓教室（双葉町）
- ●健康体操クラブ（双葉町）
- ●寺沢一忌組合（双葉町）
- ●川合寺町桜画展開催委員会（滋賀県）

双葉町老人クラブ連合会

クロリティー大会

震災後２回目となるクロリティー大会が３月４日に南東北総合卸センター（郡山市）で開催されました。

前回よりも多くの方にご参加いただき、白熱した楽しい大会となりました。

平成28年度 総 会

５月17日、双葉町老人クラブ連合会の総会が郡山市の南東北総合卸センターで開催され、平成27年度の事業報告と平成28年度の事業計画等が承認されました。

今年度も役員を中心に活動を行っていきます。

お忘れではありませんか？

しあわせ金婚夫婦表彰

締切間近です

結婚50周年を迎えられたご夫婦を祝し、福島民報社と福島県老人クラブ連合会から賞状とおしどり金メダルが贈られます。

申込みは**自己申告**となりますので、お忘れのないようお願いいたします。

＊表彰を受けられる金婚夫婦

昭和41年に結婚し50周年を迎えたご夫婦。また前回までに手続きをしなかったご夫婦。

＊申込み締切　平成28年７月15日（金）

＊申 込 み 先　双葉町老人クラブ連合会事務局
☎0246－84－6725

お問い合わせ

●本部事務局　〒974-8212 福島県いわき市東田町２丁目19－3 トークビル１階A号
☎**0246－84－6725**　FAX **0246－84－6728**

●郡山事務所　〒963-0547 福島県郡山市喜久田町卸１丁目１－１
南東北総合卸センター２階第５会議室
☎**024－973－5291**　FAX **024－973－5292**

●サポートセンター「ひだまり」　〒974-8242 福島県いわき市南台３丁目１－１（南台仮設住宅内）
☎／FAX **0246－38－7105**

●加須事務所　〒347-0105 埼玉県加須市騎西501－13
☎**0480－70－0057**　FAX **0480－70－0058**